

# 令和5年度

## 幼保小中の連携状況について（報告）

◇中学校ブロック内の取組について	1～11
◇中学校ブロック内の交流事業等について	12～35

ブロック名	ページ	
	ブロック 内の取組	交流事業
第一中学校区	1	・ 12-13
第二中学校区	2	・ 14-15
第三中学校区	3	・ 16
第四中学校区	4	・ 17-18
第五中学校区	5	・ 19-21
塩田中学校区	6	・ 22-23
第六中学校区	7	・ 24-25
丸子中学校区	8	・ 26-27
丸子北中学校区	9	・ 28-30
真田中・菅平中学校区	10	・ 31-33
依田窪南部中学校区	11	・ 34-35



上田市教育委員会  
上田市健康こども未来部

# 令和5年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名	一中区		構成園校	第一中学校、神川小学校、東小学校、東部保育園、神川保育園、国分保育園、常田保育園、聖マリア幼稚園、大屋幼稚園、上田いずみ園	
役員	令和5年度	会長	神川小学校	副会長	国分保育園
	令和6年度	会長	東小学校	副会長	常田保育園

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)明るいあいさつが自分から進んで出来る園児児童生徒を目指す。 (2)毎月1回は「メディアコントロールデー」としてゲームやネットのスイッチオフを目指す。 (3)幼保小中共通の学習及び集団生活の土台をつくる。 (4)新型コロナウイルスへの対応が課題となるため、例年以上に幼保小中の相互理解を図る。	・幼保小中での連携があることで、メディアコントロールについて時期を揃えて取り組み、連携の意義を感じる。 ・園長・校長がつながることで、一人の子どもを園・学校、そして地域の大人が支援し、育てていくのだと再確認することに繋がり、改めて大切な連携だと認識している。	◎
取組	(1)あいさつ運動の推進 ・一中区幼保小中園長校長会で作成した「あいさつ旗」を、各校各園の門や昇降口に立てて、引き続き挨拶への意識向上を図る。 →必要に応じて旗を作成する ・挨拶が行き交う気持ちよさを子どもたちが感じられるように、各園校で取り組んでいく。※ 児童会生徒会のあいさつ運動 ・家庭通知等の紙面にも挨拶の大切さについて掲載し、保護者に対して各園や各校での取組の理解と啓発を図る。	・短い期間で培われていくものではないので、幼保小中で連携を取り、子どもたちに意識づけをしていく必要性を感じる。 ・「挨拶のできる子ども」を園目標に掲げている。 こちらから声を掛けるが、自ら挨拶は少なく、出来る子には改めて挨拶をしている。 園だよりで啓もうを図っている。 ・年度初めにたてた共通の目標は8割が達成していると感じます。引き続き1中区全体で 挨拶運動・メディアコントロールDAYを行い 園児児童生徒の健全な育成に繋がればと思う。 ・幼保小中の連携を大事にすることで、メディアコントロールやあいさつについて、共通の目標に向かって取り組むことができています。 ・地域で1つの目標を持って取り組む意義は大きいと思うので、引き続き取り組んでいきたい。 ・各園校で連携しながら取り組むことができた。継続的・長期的に意識しながら進めていけて良いと思う。	○
	(2)メディアコントロールデーの推進 ・小中学校の取組に、幼保園も予定を合わせて一斉に行う。できる限り統一した時期(中学校の定期テスト前等)でメディアコントロールデーを設定。ゲームやテレビのスイッチを切って、親子遊びや読書、手伝い、友だちとの外遊び、学習をする時間として推奨。 ・携帯端末・ネットトラブルの防止について学習や啓発に取り組む。→小中学校で実施した「スマホ・タブレット・ゲーム機等に関するアンケート」の結果(各校及び一中区全体)の分析及び共有と講演会 ※PTAと共に研修会を実施(神川小PTA講演会)各校・各園にチラシ配付 ・小中学校ではメディアに振り回される児童生徒が多い。メディアの活用を踏まえつつ、振り回されない児童生徒にするために系統立てた指導を継続していく。	・細目に保護者に伝えることと、職員も意識をもって子どもたちに話をすることができました。改めて地域で行っていくことの大切さを感じる。 ・メディアコントロールデーの推進 園だよりなどで具体的に「スイッチを切って何をするか」伝えるが、メディアの誘惑になかなか勝てないようだ。 ・お正月遊び(かるた取り、トランプ、凧揚げなど)をする家庭は少ない。 ・月1日のメディアコントロールの日 9割がたのご家庭が取り組んで下さり「はじめは大変だったけど 今はメディアコントロールDAYが定着しているので」と好意的に実施していただいている。 ・ゲーム依存、スマホ依存、テレビ依存は いけないと言う事は頭ではわかっているがやめずらい。「幼保小中連携で行っていることにとっても意義があり今後も続けて下さい」という意見を多数頂いた。 ・毎年、PTAの活動(講演会)にもテーマとして取り上げられており、保護者と共にメディアコントロールについて考えることができた。引き続き、取り組んでいきたい。 ・神川小での講演会に参加できず申し訳ありませんでした。毎年実施して大変有効な取組になっている。会場校以外の参加をどのように増やしていけるかが課題。 ・ノーメディアチャレンジカードは、毎月、最初の木曜日に、各家庭で取り組んできた。それぞれ、工夫した取り組みが見られた。 今年度から、ノーメディアデーのお知らせは、保護者アプリ(コドモン)でタイムリーに伝えるようにした。	◎
	(3)子どもの育ちに関わる意見交換 ・授業参観・保育参観を行い実際の子ども姿から学び合う。 ・幼保園から小学校、中学校へと成長する場を移行していく中で、各園校が意識していく学びや集団生活の土台について意見交換する。 ・特性のある子どもを中心にした支援体制の共有。 ・幼保小中共通のUDの構築。	・一中区会の会場で参観させて頂く機会があるので、実際に参観したうえで取り組みなどをお聞きすることができ情報交換もしやすいのかと思った。 ・意見交換は子どもの育ちに必要なことなので続けて欲しい。 ・実際に子ども姿を参観させていただき、意見交換をする中で、支援を必要とする子どもなどの情報共有ができています。 ・メディアに関する講演会等で啓発活動を行っているが、多くの方々に正しい知識を持っていただくためには、どのようにしたら良いのか考えていきたい。 ・意見交換をしながら、それぞれの現状を知ることができた。園・小接続カリキュラムに基づいた「学びの改革」の実践に向け、連携し取り組んでいきたい。	○
	(4)幼保小中での連携 ・特色ある取組を紹介し学び合う。 ・交流事業について相談し合う。 ・新型コロナウイルスへの対応について情報共有し合い、連携を図る。	・同じ地域の中での情報交換は参考になりありがたいと思う。 ・年間を通して、小学1年生と年長児との交流が、小学校と園とで再開できてよかった。 ・民生委員の方と意見交換をしながら、お力添えいただいたおかげで、地域の方との交流や繋がりが増えている。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月11日 (水)	常田保育園	・今年度の取組計画の立案 ・参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・幼保小中の連携を深めるための活動や交流にかかわる情報交換
2	10月27日 (金)	東部保育園	・参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換
3	1月31日 (水)	神川小学校	・授業参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度の計画

# 令和5年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		第二中学校区		構成園校		第二中/清明小/塩尻小/南部保育園/梅花幼稚園/聖ミカエル保育園/あそびの森あきわ/塩尻保育園/キッズうえだみなみ	
役員	令和5年度	会長	塩尻小学校長 水沢 博昭		副会長	清明小学校長 石川 武	
	令和6年度	会長	清明小学校長 石川 武		副会長	第二中学校長 一色 保典	

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)「挨拶」「返事」「靴揃え」を工夫して継続指導し、豊かな心を育てる。 (2)「メディアコントロール週間・子ども中心の日」を設け、情報化社会にあって、メディアの有効な活用と自己制御する力を高める。 (3)「個が生きる・個を生かす」支援のあり方を、各学校・園において、工夫・研究する。 (4)幼保小、小中の接続がスムーズにいこう、交流活動や体験活動を行い、幼保小中の情報共有を密に行う。	(1)日常生活の中でできることから取り組んだ。自らくつを揃えられる子も出てきた。 (2)二中区でそろえて実施することにより、多くの家庭で工夫した取り組みが見られた。あえて期間を設けることで意識することができ、子どもの成長を感じる時間になったとの肯定的な意見が多かった。 (3)(4)子どもたちの育ちを、連続的に見ていくことの大切さを改めて感じさせられた。幼保小・小中の交流活動や情報共有を今後も丁寧に行い、子どもたちの成長を各段階で見取りながら、指導支援にあたりたい。	◎
取組	(1)「挨拶・返事・靴揃え」 ・各学校・園の実状により年間を通して指導するとともに、地域・家庭へも折に触れ発信する。	・挨拶は、どの成長段階においても、基本的な生活習慣として、指導を継続したい。年代や個によって、声が出せないなど課題はあるが、子どもの小さな成長を大事にしたい。 ・二中学生会で大切にしている「明倫の柱」に据えて、生徒会の活動として取り組んだ。取組の成果を学校だよりやホームページで地域・家庭へ発信することができた。	○
	(2)「メディアコントロール週間・子ども中心の日」 ・第二中学校の期末テストの期間に合わせて実施している。今年度は、6月下旬と11月中旬に実施した。	・学校の話や家庭生活のことについて話し合う家族団らんの時間をもつ取組を促すことができた。昨年よりも多くの感想が寄せられ、じっくり向き合うことで子どもの成長を感じたという感想が多く見られた。 ・ブロック内で一つのチラシ(ポスター)を作成して配布すると、より連携していることが家庭に伝わるのではないかと。	◎
	(3)多様な個の支援のあり方を視点に、互いの学校や園の活動・授業を参観し合い、意見交換をしながら、個を生かした学力・生活力の向上を図る。(授業・活動参観3回)	・子どもの具体的な様子を参観し、それぞれの段階で、どんな課題があり、どんな支援がなされているのかを知ることができた。小学校への接続について考えるよい場にもなった。 ・発達段階に応じた支援のあり方を共有できるよい機会となった。	◎
	(4)各校で交流活動・体験学習等を計画・実施する。また日頃の情報交換や意見交換を積極的に行い、園児や児童・生徒の理解を深める。	・交流活動を各校で工夫して実施できた。文化祭見学や音楽会、運動会見学は、学習成果の一部を小学生や年長児、保護者にも知っていただくよい機会となった。進学への不安軽減にもつながると感じる。 ・交流により情報交換もでき、子どもへの理解から、課題も見えてきた。スムーズな入学へつながるよう、アプローチカリキュラムの見直しや、情報共有、移行支援会議をこれからも丁寧に行っていきたい。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月13日	塩尻小学校	○塩尻小学校の授業参観・感想 ○幼保小中の連携(共通の取組・連携の具体的な計画等)について協議 第2回の確認 ○各校・園の情報交換
2	7月13日	清明小学校	○清明小学校の授業参観・感想 ○幼保小中の連携について ○「子ども中心の日」(第1回メディアコントロール週間)の実施状況確認 第3回の確認 ○各校・園の情報交換
3	11月14日	梅花幼稚園	○梅花幼稚園の授業参観・感想 ○各校・園の情報交換 ○保護者のグループライン等の活用状況について情報交換 第4回の確認
4	2月13日	第二中学校	○本年度の反省及び令和6年度年間計画について ○各校・園の情報交換、来年度の取組について

# 令和5年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		第三中学校区		構成園校	三中 北小 西小 上田幼 認かんぎおん 甘露保 たちばな幼 北保 認芙蓉園	
役員	令和5年度	会長	第三中学校長		副会長	北小学校長
	令和6年度	会長	北小学校長		副会長	西小学校長

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	<p>テーマ 「コロナ収束後における子どもの育ちで大切にしたいこと」</p> <p>①実体験を通しての育ちを大切にしてい ②運動不足による体力低下をくい止める</p>		
取組	<p>①実体験を通しての育ちを大切にするために コロナが終息し、様々な活動が再開した。これまで児童生徒の生活スタイルがどのように変化し、どのようなことが子どもの育ちに影響をきたしているか課題を洗い出し、改善に向けてアクションを起こした。＜課題＞ コロナ禍でタブレットやYouTubeなど、目や耳を中心に取り入れた実体験のない知識ばかりが増え、実際に体を動かす経験・体験が不足している。ネットトラブルが増え、SNSの利活用の推進 ＜活動＞ ○小中学校での職場体験学習の実施(再開) ○総合的な学習の時間に「ふるさと学習」「地域発見学習」の実施。○様々な園行事の実施。畑づくりを継続し、収穫したものを調理して給食で食べた ○小中学校における行事の再開、運動会・音楽会・文化祭等による体力増進や交流機会の促進</p>	<p>○各園・各校で実態を考慮した活動をした。 ・職場体験学習を受け入れてもらえるところが多く、安全活楽しく体験を積ませていただいた。 ・異年齢保育やペア学級などの交流を通して、励まされ、支えられる経験を重ねることができた。 ・水路の探索・カイクの飼育・上田城にかかわる学習・民話の上演などのふるさと学習に取り組むことができた。 ・園での行事は、すべて実施できた。 ・何かを変えようとする、職員は負担感ばかりを感じてしまう。保小中と、職員の交流をすることで、お互いのモチベーションアップを図りたい。 ・地域を学ぶ機会が増え、現地での交流と発表場面を設けることができた。</p>	○
	<p>②運動不足による体力低下をくい止めるために ・日課に全員で体を動かす体操の時間を組み込む ・自由に遊べる時間を確保する ・外遊びを奨励する ・運動固有の楽しさ(特性)に触れながら、夢中になって身体を動かす体育の授業を工夫する ・部活動の再開。効率のよい練習と技能向上。</p>	<p>○各園各校ともに様々な活動を通して体力増進ができた。 ・掃除の時間を減らし、授業までの30分間を自由に遊べる時間として確保したことで、外で遊ぶ児童が増えた。 ・マラソンに取り組み走ることが日課になった。 ・登園後は園庭で遊び、全員で体操をして十分体を動かしてから室内での活動へ進んだ。 ・学級や学年、校内の交流機会が増えた。 ・各種大会やコンクール出場の機会が増え、十分な成績結果を得た。</p>	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月8日	第三中学校	・授業参観と感想 ・各園各校のグランドデザインから、今年の運営の重点について ・幼保小中連携の重点について 課題とアクション
2	11月30日	北小学校	・授業参観と感想 ・6月以降の各園各校の子どもたちの様子 ・連携の重点への取り組み状況についての情報交換 ・特別な支援を要する園児・児童生徒の情報交換
3	2月7日	認定こども園 かんぎおん	・保育参観と感想 ・移行支援会議の推進にかかわって ・令和5年度 幼保小中連携の取り組みについての反省・来年度の連携の重点について ・令和6年度の開催日の決定・年間行事の日程調整

# 令和5年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名	第四中学校区	構成園校	四中／城下小／南小／みのり保／城下保／下之条保／上田南幼／三好町保		
役員	令和5年度	会長	城下小学校長	副会長	下之条保育園長・南小学校長
	令和6年度	会長	南小学校長	副会長	城下保育園長・第四中学校長

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	<p>幼保小中の接続をどうするか、幼保小中で連携して育てていきたい力について、参観や話し合いを通して、現状を見直していく。</p> <p>①基本的習慣・生活リズムの確立における連携 ②支援を必要とする子どもについての連携 ③幼保小中のスムーズな移行のための取組</p>	<p>①各校、各園ともに「子どもの主体性」を重視していることから、共通の目標として取り組むことが確認できた。引き続き、各校の取り組みなどを情報交換していきたい。②アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムから移行に係情報交換できた。③情報を確実に引き継ぐこと、対応はできるだけ小さい段階で行うこと。</p>	○
取組	<p>(1)参観を通して先生方の子どもたちとの関わりから学ぶ。 城下小学校の授業参観(第2回) 下之条保育園の授業参観(第3回)</p>	<p>①授業参観で、子どもたちの学ぶ姿勢、教職員・保育者の動きや言葉かけ、教室・保育環境などを、自園や自校の様子と比較しながら参観することで、自園や自校のあり方をふり返ることができた。 ②所属長の話から、園や学校で大切にしていること、子どもの実態、指導や支援の困難点や工夫等について学ぶことができ、自園、自校の運営に生かすことができた。 ③発達段階に応じて大事にしていることがわかり、確実に繋げていくこと重要性を改めて確認できた。 ④本年度は、保育園、小学校の両校園の参観ができた。幼保小中連携のあり様を子どもの姿や学びの様子から考えることができた。</p>	○
	<p>(2)幼保小中の接続という点からの情報交換と話し合い</p>	<p>①幼保小中連携、今年度は特にアプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの連携について考えることができた。遊びを中心とした学びをどのように見つめ、何を見出し小学校の学びにつないでいくかより考えていくことを確認した。 ②教育環境に係り、子どもの発達段階に合わせた教材のあり方、教材の持つ可能性等について、議論を深めることができた。また、小学校、中学校において、不適応不登校傾向にある児童生徒が増えていることから、幼保における子どもの様子をうかがった。その中で、子どもたちが安心して生活を送れるよう、幼保小中の各段階で、子どもの様子や発達障がいの子どもの対応について、丁寧に十分な引き継ぎをしいくことを確認した。</p>	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月28日	真田中央公民館	①自己紹介 ②年間計画立案 ③情報交換
2	11月27日	城下小学校	①授業参観と参観後の感想 ②幼保小中連携に関わる情報交換 アプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの連携について
3	1月31日	下之条保育園	①授業参観と参観後の感想 ②幼保小中連携に関わる情報交換 発達段階に応じた教育環境や教材研究のあり方、子どもたちが安心して生活を送るための支援のあり方について。 ③移行支援会議等の情報の引き継ぎについて ④1年間の反省と次年度の計画

# 令和5年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名	第五中学校区	構成園校	第五中 豊殿小 神科小 あゆみ保 上田北幼 神科第一保 神科第二保 豊殿保 認定こども園にしおか		
役員	令和5年度	会長	第五中学校	副会長	神科第一保育園
	令和6年度	会長	豊殿小学校	副会長	豊殿保育園

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	《キャリア教育を視点においた五中区の取り組み》 「基本的な生活と心身の健康」 (1)基本的な生活習慣の見直しと確立 (2)コロナ禍においてもできる活動の模索 (3)特別な支援の必要な子ども理解 (4)連携・交流事業	・各園や学校で基本的な生活習慣の見直しや確立につながる取り組みを意図的に取り入れてきた。特にメディアの使用については、実態調査から課題を把握し児童や保護者へ講演会を通して指導できた。 ・幼保小中の子どもたちの交流も実施され、直接会って関係をつくることができた。情報交換も様々なところで行っている。今後も幼保小中の連携を大切にしたい。	○
取組	(1)基本的な生活習慣の見直しと確立 ・運動遊びや体づくり運動の積極的な取り入れ ・誰にでも気持ちのよいあいさつができるような声かけ ・メディアコントロールと睡眠時間の確保 ・家庭への早寝、早起き、朝ご飯の呼びかけ	・チャレンジキッズをアレンジして、体づくりに挑戦した。話の聞き方に変化があるなど、日常的な取り組みの成果が出ている。ボランティアによる「遊ボール」の取り組みを年長が行った。意図的に取り組んでいる。 ・神科小、豊殿小の6年生と保護者対象に、本年度のアンケート結果を基に五中の校長先生によるメディアコントロールの講演会を実施。	○
	(2)コロナ禍においてもできる活動の模索 ・各校、園における活動の工夫と実践・感染防止対策に関わる情報交換・五中区便りの配布	・コロナ禍以前に実施していた参加型保育や秋祭、異年齢交流などを実施した。参観日は人数制限をして実施した。	◎
	(3)特別な支援の必要な子ども理解 ・園児、児童、生徒の情報交換	・幼保小連絡会や移行支援会議で、配慮が必要な児童生徒の支援の在り方について情報交換を細かく行っている。保護者についての情報も含めて今後も連携を図りたい。	○
	(4)連携・交流事業の充実 ・スタートカリキュラムの実施(小学校) ・小6年生の中学校文化祭見学や説明会への参加等の取り組みによる中1ギャップの解消 ・保小連携による小1プロブレムの解消 ・保中交流	・小学校入学からしばらくの間、朝の時間に読み聞かせをするなど、保育園での活動を取り入れるなど、スタートカリキュラムを実施。保育園でもお昼寝をやめるなどアプローチカリキュラムを実施。 ・中学校の文化祭は校舎改築のため、見学は実施せず。中学校説明会は1年生の生徒が中心になり実施。 ・来入児保護者会や中学校説明会の折りに保護者に対して児童生徒への対応やメディアに関する影響などを伝えているが、家庭での指導に心配が残る。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月10日	五中	・各園・各校での今までの取組の成果と課題について ・本年度の活動方針の決定 ・年間行事やその他の情報交換
2	6月28日	上田市校長会と合同開催	・今年度の活動テーマの確認 ・各園・校の様子、情報交換
3	10月24日	豊殿保育園	・各園・各校での今までの取組の成果と課題について ・特別な支援が必要な園児・児童・生徒について
4	1月31日	神科第一保育園	・参観の感想、各園・校の様子、情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度(令和5年度)の計画

## 令和5年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	塩田中学校区		構成園校	塩田中、中塩田小、塩田西小、東塩田小、上田女短附属幼、塩田中央保、塩田北保、西塩田保、東塩田保、おひさまクラブ幼稚園		
役員	令和5年度	会長	塩田西小学校長	井上 靖子	副会長	塩田中学校長 齋藤 毅
	令和6年度	会長	未定		副会長	未定

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 幼保小中の職員・児童・生徒・園児の具体的連携の実施 (2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 (3) 幼保小中に関わるキャリア教育についての情報交換	以下の取組の成果の通り	○
取組	(1) 幼保小中の職員・児童・生徒・園児の具体的連携の実施	○夏休み中等に、小学校職員が保育園に出向き、園生活を体験させていただき、園児の様子を知ったり、小学校のスタートカリキュラムに活かすことができた。 ○園児と児童の交流、来入児の体験入学等再開することができた。	○
	(2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 ①6月28日 園長・校長合同会議で情報交換と今後の計画立案 ②10月24日 塩田中央保育園の参観と情報交換 ③1月24日 中塩田小学校の参観と情報交換 ④夏休み～2月 幼稚園・保育園へ小学校職員の参観 ⑤9月～2月 来入児で支援を要する園児の保護者との懇談や園児の体験入学 ⑥年間を通して小中での情報交換	○塩田中央保育園では自由遊びの参観を行った。情報交換では、各校の取り組みを共有することができた。 ○中塩田小学校では児童の様子を参観するとともに、今後の幼保小中連携、交流について意見交換を行った。 ○支援を要する園児の円滑な入学に向けて、情報交換や体験を行うことができた。 ○小学校新入生アプローチカリキュラムを各園と共有した。	○
	(3)「メディアコントロール週間」 ・塩田中学校の期末テストの期間に合わせて実施している。今年度は、5月、9、2月に実施した。	○年間行事計画に位置付けられている。保護者へは無理のないようにと呼びかけている。継続してきている取り組みなので、保護者に浸透してきている。	○
	(4) 幼保小中に関わるキャリア教育についての情報交換 ・中学校生徒の幼保小での職業体験	○職場体験により、中学生のキャリア教育に生かすことができた。	○

※評価      ◎: 目標を上回る達成      ○: 目標どおり      △: 目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月28日	真田中央公民館	①本年度の年間計画の確認 ②情報交換
2	10月24日	塩田中央保育園	①保育と施設の参観をしての意見交換 ②来入児について個別の情報交換 ③幼保小中の連携の必要性と今後の予定 ④キャリア教育の取組について情報交換
3	1月24日	中塩田小学校	①授業と施設の参観をしての意見交換 ②来入児について個別の情報交換 ③幼保小中の連携上の課題の確認と改善方法の検討 ④来年度に向けてのキャリア教育について意見交換

## 令和5年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名		第六中学校区		構成園校	第六中/川辺小/川西小/浦里小/日向幼稚園/川辺保/泉田保/浦里保/室賀保
役員	令和5年度	会長	川西小学校		副会長
	令和6年度	会長	浦里保育園		副会長

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)あいさつ、返事、靴揃えのできる子どもを育てる。 (2)生活リズムや決まりよい生活習慣を身につけさせる。 (3)互いの園・校の情報交換交流活動が円滑になるように工夫し、園児、児童生徒の個の支援につながるようにする。	・各園校では挨拶を大切に考えているが、それだけに改善すべき課題と捉えている学校も複数ある。特に地域での挨拶には難しさを感じている。 ・感染症法上のコロナの扱いが変わり、授業や保育を参観することで相互理解が図れた。	○
取組	1 幼保小中、それぞれの場での課題や悩みなどについて情報交換をし、参観等を通して具体的な取組みについて共通理解をする。	・幼保園が遊びを通して主体性を育もうとする保育を実践していることを、小中学校は参観した園の様子から改めて実感することができた。また、泉田保育園での連絡会では、併設されている子育て支援センターの見学を通して、市の子育て支援について考えを深めることができた。 ・児童の主体性に課題を感じている小学校があり、幼保小の接続について、担任レベルでの相互理解の必要性があることが確認された。	○
	2 個別支援が必要な子、家庭支援が必要な子への援助や連携のあり方について (1)参観や移行支援会議等を通して子どもの実態を把握し幼保小中の具体的な取組みや支援方法について検討し共通理解する。 (2)保護者理解を得るために、個別参観を行い具体例を挙げた情報交換をし、保護者の支援や対応について検討する。	・連絡会をきっかけとして、幼保小間・小中間に必要な情報共有や相談の機会を設けることができた。 ・気になる状況がある園児・児童について、丁寧に移行支援会議を実施することができた。人数が多くなっているが、分かりやすい資料を用意していただき、効率よく実施していただくことができた。	○
	3 職員の交流 (1)職員が、保育園や小学校へ行って学校生活や保育体験をする中でお互いの職場の現状を理解し合う。 (2)発達段階の違いを、子どもの活動の実体験から学び合う。 ・就学前担当者が各園を訪問し、子どもの活動の様子や支援について情報を共有することで、入学に向けた準備ができる。	・就学前教育担当者が各園を訪問し、子どもの様子を把握することで移行支援をスムーズに行うことに繋がった。 ・移行支援会議をしたり、小学校から保育園へ来てもらったりして子どもたちの様子を見て頂けてよかった。直接見て頂いた事で様子が分かり入学後のスムーズな支援へとつながられるかと思う。	○

※評価      ◎: 目標を上回る達成      ○: 目標どおり      △: 目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	8月30日 (水)	川辺小	・授業参観の意見・感想    ・川辺小学校の現状と課題について    ・熱中症対策 ・アプローチカリキュラムの作成    ・メディアコントロールデー    ・今年度の計画の確認
2	11月10日 (金)	泉田保	・子育て支援センターの見学と懇談    ・保育参観の感想と保育園の現状と課題 ・接続カリキュラム(アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム)を意味あるものにするために
3	2月22日 (木)	室賀保	・保育参観の感想と保育園の現状と課題 ・園児・児童生徒が抱える問題    ・今年度の反省と来年度への要望    ・移行支援会議について

## 令和5年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	丸子中学校区	構成園校	丸子中、丸子中央小、西内小 中丸子保、まるこ保、西内保		
役員	令和5年度	会長	丸子中央小学校 校長	副会長	丸子中学校 校長
	令和6年度	会長	丸子中学校 校長	副会長	丸子中央小学校 校長

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通 目標	(1) 授業や活動参観を通して、各発達段階における現状の把握や課題について情報交換を行う。 (2) 園・校内や家庭内での基本的生活習慣の確立を図る。 (3) 発達障害のある園児児童生徒の情報共有を行い、よりよい支援方法を探り、接続について連携を図る。	○喫緊の課題として共通理解が持て、園児・児童・生徒の様子や生育歴・環境等から、その対応について話し合うことができた。 ○全回計画通り実施できた。	○
取組	(1) 共通目標(1)について ①保育園児の活動参観から、発達段階における状況や課題を把握する。 ②園から小学校、小学校から中学校への繋がりにおける課題や対応策を検討する。(1回目の園・2回目の小・3回目の中を通して) ③夏休み中に園へ小学校の職員が出向き、参観・体験・情報交換する。	○幼保小中における園や学校課題を共有し、中学校までの育ちについて、改善点を話し合うことができた。 ○幼保小中における園児・児童・生徒の発達段階的な様子や課題を連続して把握し、記録を生かしていきたい。 ○少子化に伴い、今後の保小、小中、園・学校間での交流や対応等について共有し、連携を図ることができた。	○
	(2) 共通目標(2)について ①幼保小中が連携して「基本的生活習慣の大切さ」や「家庭生活のあり方」のプリント内容を更に検討し、作成する。 ②夏休み前に上記プリントを配布して、保護者へ啓発を行う。 ③「早寝、早起き、朝ご飯」の継続した呼び掛け。 ④来入児保護者会で、家庭生活のリズムの整えや基本的な生活ができるように依頼する。 ⑤「メディアコントロールの大切さ」について、保護者への啓発を行う。	○昨年度までの取組を継続して「メディアコントロール」について呼びかけをしていくことを共通理解した。 ・「ぐんぐん丸っこ」に市教委で発行しているリーフレット(スマホ・ネットをかしこく安全に使うために)を載せ、ルール作りの大切さを呼びかけた。 ・年3回(7月,11月,2月)幼保小中連携して、メディアコントロール週間を統一して実施することは、家庭から好評を得ている。さらに取組みやすくなるための「がんばりカード」等の工夫を共有した。保護者への啓発をさらに工夫していきたい。	○
	(3) 共通目標(3)について ①丸子中学校区の各園・学校の発達障害状況と対応策についての理解を図る。 ②会合の度に指導主事先生や保健師さんにも同席していただき、発達障害の相談窓口等の指導をいただく。 ③支援が必要な児童や家庭について具体的な内容を話し合い、各園・校で参考にする。	○各園・各学校とも発達障がいと思われる子どもたちの増加状況と対応策についての理解を図る事ができた。 ○参観から発達障がい等の理解を深め、指導や啓発の継続性の大切さを協議できた。 ○子どもへの支援や配慮について具体的に学ぶことができた。	○

※評価      ◎: 目標を上回る達成      ○: 目標どおり      △: 目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	7月12日 (水)	西内小学校	・西内小学校 全学年の授業参観 ・発達障害のある子どもや家庭への支援について ・新入生を迎えるに当たっての幼保小の連携について ・来入児の名簿の確認 ・「ぐんぐん丸っこ」の内容の検討      ・今後の予定
2	10月24日 (火)	中丸子 保育園	・中丸子保育園の活動参観 ・学校職員の園訪問・就学相談について ・メディアコントロール週間について ・各園・校の課題、健康面について
3	1月16日 (火)	丸子 中学校	・丸子中学校の授業参観 ・小中に発達障害のある児童の受け入れやその支援について ・アプローチ、スタートカリキュラムの検討 ・幼保小中を通しての連携について ・本年度の反省と課題、次年度への希望と予定

## 令和5年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	丸子北中学校区		構成園校	丸子北中／丸子北小／塩川小／依田保／長瀬保 ／塩川保／ちぐさ幼		
役員	令和5年度	会長	丸子北中学校	川口 伸哉	副会長	ちぐさ幼稚園 市川 みどり
	令和6年度	会長	丸子北小学校		副会長	長瀬保育園

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通 目標	(1)「思いやり」の芽を大事に育てよう (2)何事も「自分でする」気持ちを持たせよう (3)発達段階に応じて、学習する習慣を身につけさせよう (4)心と心を伝え合う「あいさつ」でつながろう ※子どもの発達段階に即した指導の接続と連携をもとにして	以下の通り	○
取組	(1)人権同和教育の推進(各園、各校の計画による) ①中学校区人権同和教育研修会 ②幼保小中連携だより「よだがわ」の発行(11月)	・人権同和教育においては、幼保小中それぞれの計画により推進しているが、小中においては講話をお聞きしたり、授業公開・研究会を行ったりして、有意義な研修会が実施できている。授業公開・研究会については、幼保の先生方の参加も検討していきたい。 ・今年度の内容は「LGBTQ」に関するものとして家庭へ配布し、園や学校での取組への理解と協力を求めた。	○
	(2)「自分でする」という主体性を高めるための取組	・各小中学校では、新規に入学してくる児童生徒に対して、児童生徒手作りの体験的な交流学習(体験学習・体験入学)を計画・実践している。新しい仲間を自分たちで迎えるという意識が醸成されている。 ・各園では、園児が「自分でする」ことが少しずつ多くなるように、家庭の協力を得ながら支援し、成果が出てきている。	○
	(3)子どもの成長や学びの発達段階に即した指導の接続と連携	・連携会議で、保育・授業参観を通して園児・児童・生徒理解を図ると共に、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを基に、指導の接続や連携のあり方について協議し、幼保小中で役立てることができている。 ・連携会議毎に、各校園の連携の状況や園児・児童・生徒の交流活動について情報交換を行ってきた。新たな取組を導入できる可能性が見えてきている。	○
	(4)あいさつ運動の実施(朝の時間)	・あいさつ運動は、コロナ禍を機に、各校での実施となり、児童会・生徒会役員や地域の方、PTAの方、地元企業の方が学校玄関や通学路に立ち、あいさつ運動を展開している。学校職員や校長も定期的に通学路に立ち、児童・生徒とあいさつを交わしている。その結果、気持ちのよいあいさつができる子どもたちが増えてきている。	○

※評価      ◎: 目標を上回る達成      ○: 目標どおり      △: 目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月28日	真田中央公民館	・自己紹介    ・中学校区ブロック会議の計画について    ・今年度の取組(交流事業)について(昨年度の成果と課題から)    ・「幼保小中連携だより」について    ・第2回ブロック会議について
2	8月24日	塩川保育園	・園の紹介・園児の様子    ・保育参観    ・参観の感想    ・1学期の取組についての情報交換    ・「幼保小中連携だより」について    ・第3回ブロック会議について
3	10月25日	ちぐさ幼稚園	・園の紹介・園児の様子    ・授業参観    ・参観の感想    ・2学期の取組についての情報交換    ・「幼保小中連携だより」について    ・アプローチカリキュラム／スタートカリキュラムについて    ・第4回ブロック会議について
4	2月7日	丸子北小学校	・学校の紹介・児童の様子    ・授業参観    ・参観の感想    ・今年度の取り組みについての反省    ・令和6年度連携会議の計画について    ・各園・学校の行事予定(運動会・音楽会・文化祭・その他)

## 令和5年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名		真田中・菅平中学校区	構成園校	真田中 / 本原小 / 長小 / 菅平小中 / 傍陽小 さなだ保 / いずみ幼 / すがだいら保 / そえひ保	
役員	令和5年度	会長	そえひ保育園長 武捨 純子	副会長	傍陽小学校 橋詰 文彦
	令和6年度	会長	傍陽小学校 橋詰 文彦	副会長	さなだ保育園長 若林 香織

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	「みんなで育てよう真田っ子を」 ～キャリア教育＝自己肯定感や自己有用感を育み、 スムーズな入学を進めるための連携とそのあり方～	・幼保小中連携を、キャリア教育の視点から捉え、 活動や交流を行うことが出来た。	○
取組	① 各園のアプローチカリキュラム、各校のスタートカリキュラムをもとに、幼保との連携の中で重点となる活動内容などについて意見交換の実施 ② 各園・各校における学びの状況や子どもの姿に応じた支援・指導の連携についての情報交換 ③ 各園・各校における幼保小中の連携を更に深めるための園児・生徒の活動や交流にかかわる情報交換	・各園のアプローチカリキュラム、各校のスタートカリキュラムの計画を持ち寄り、幼保小中連携の中で、子ども達がスムーズに学校に慣れていくように考えることが出来た。 ・各園・各校での具体的な交流計画について情報交換したことで実施に結びつき、交流が深められた。	○
	① 子どもの学習や遊びの様子、活動場所等を参観し、懇談することを通して、研修を深める。 ② 小中学校の職員が校区の幼・保での体験実習をすることにより、幼保職員の具体的な支援に学ぶ。 ③ 幼保から小、小から中へ、配慮を要する子どもの支援のあり方について、情報交換を行う。	・それぞれの園や学校での情報交換により、子ども理解について研修が深まった。 ・体験学習から、中学校への抵抗感を薄め、進学への期待感を高めることが出来た。 ・来入児・児童・生徒の情報交換をすることにより、小1・中1ギャップの解消が図られている。	○

※評価      ◎: 目標を上回る達成      ○: 目標どおり      △: 目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

1	6月28日	真田中央 公民館	・上田市校長会と同時開催 ・本年度の計画
2	11月13日	そえひ保育園	・保育参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・各園・各校でのアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムについて
3	12月11日	本原小学校	・担任より授業内容説明及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望

# 令和5年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		依田窪南部中学校区	構成園校	武石保育園・武石小学校・依田窪南部中学校		
役員	令和5年度	会長	依田窪南部中学校		副会長	武石保育園長
	令和6年度	会長	武石小学校		副会長	武石保育園長

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰にでもあいさつができる武石地域を目指す。</li> <li>相手を思いやる心を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園、小学校、中学校共通であいさつを大事に取り組んできた。声をかけられたり、あいさつを促されるとききちんとできるが、自ら進んであいさつできる子は少ない。毎年の取り組みにより、昨年よりはあいさつができるようになってきている。</li> <li>自分中心に物事を考える子が多い傾向にあるが、少しずつであるが、相手の立場や相手の事を理解しながら接する子が育ってきている。</li> </ul>	○
取組	(1) 保育園、小学校、中学校でのあいさつ運動の実施。 ① 各校、園の実態に合わせあいさつ運動を進める。 ② 各校、園で授業の始まり、会の始まりなど「始まり・終わり」のあいさつをきちんとおこないメリハリをつける。 ③ 各校、園で「はい。」「ありがとう。」などの返事が自然に出るように確実におこなう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつが、できる子どもが増えてきているが、基本的な生活習慣として身に付くよう継続的に力を入れていく。</li> <li>地域の方から「気持ちよいあいさつをしてくれる子と声を掛けても返事をしてくれない。」との声もあるので、気持ちの良いあいさつや返事が、自然に出てくるように普段の生活の中から意識して声かけをする。</li> </ul>	○
	(2) 中学校、小学校、園との交流 ① 武石保育園研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みに小中教職員が、半日保育園に行き、園児と過ごし、園児の理解を深めることができた。また、保小中の職員間で情報交換や、各校、園での取り組みの確認をおこなっている。今年度は4年ぶりに再開することができた。</li> </ul> ② 小中学校の交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校へ合唱の合同練習に参加、文化祭で小中合同のステージ発表をおこなうことができた。</li> </ul> ③ 保小連絡会 <ul style="list-style-type: none"> <li>運動会、音楽会への年長組の参加を令和5年度より中止とした。</li> <li>小学校のプール体験を1回実施した。</li> <li>発達検査、来入児1日入学の2回、5年生と1年生が、来入児と一緒に遊んだり、お世話をしたりした。</li> <li>来入児と1、2年生が焼き芋交流をおこなう予定であったが、インフルエンザが流行し、中止となった。焼き芋と、児童が作ったプレゼントは届けられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の職員が、保育園に出向き園児と関わらせていただくことは、子どもの発達段階を理解する上で大変有意義になっているので、今後も夏休みの研修の一部として継続していく。</li> <li>年長組が小学校のプールで遊んだり、小学生と関わることで、小学校入学への不安を取り除き、小学校入学を楽しみにしてもらうことができる。</li> <li>小学校、中学校へ進学するにあたり、子どもだけではなく、保護者も不安を持っている。子どもと保護者に来校していただき、学校の様子を見たり、保護者と懇談をおこなったりすることは、有意義だった。</li> </ul>	◎
	(3) メディアコントロールデーの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>南部地区の学校でメディアコントロールデーを毎月、第3水曜日に実施。武石保育園でもメディアと接しない日を決めて実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校、園の実態に合わせ取り組みを進めている。</li> <li>小中学校では、メディアに関わる時間の増加による不規則な生活、健康被害、SNSトラブル等を心配している。できるだけメディアに関わらない時間を作ることを学校側から各家庭へ発信を続けている。</li> <li>武石地域全体にエアートークでメディアコントロールデーの呼びかけをおこない一定の成果を上げている。</li> </ul>	
	(4) 中学校説明会、中学校職員の出前授業の実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、全てのコロナ禍前に戻り実施できた。</li> <li>中学生から、直接中学校生活について説明を受け、期待に胸を膨らませている。</li> <li>中学校職員が、直接小学校へ来校し、数学、英語の授業をおこなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校生徒から、中学校生活の様子を聞き、直接関わりながら説明や話げができたことは、中学校進学への不安が減り、中学生になる心構えや準備をすることに繋がった。</li> <li>中学の先生に授業をしていただいたことで、中学校生活への期待が膨らんだ。</li> </ul>	

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月23日 11月6日 2月5日	依田窪南部中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中連絡会</li> <li>・5月…新中学1年生の様子について</li> <li>・11月、2月…6年生への中学校説明会について 特別な支援を必要とする子どもの支援について</li> <li>・2月…移行支援会議(6回)</li> </ul>
2	5月22日 11月1日 1月25日	武石小	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼保小連絡会</li> <li>・5月…新1年生の様子について</li> <li>・11月…来入児との交流</li> <li>・1月…来入児の様子 特別支援を必要とする子どもの支援について</li> <li>・2月…移行支援会議(3回)</li> </ul>

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第一中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
4月初旬	入学式 入園式	各幼稚園 各保育園 各小学校	幼保小	入学式・入園式に各園・各学校からメッセージをいただき、紹介。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ご来賓の出席を自粛した。
5月	幼保小連絡会	東小・神川小1年、各幼保	幼保小	新1年生の様子の授業参観及び担任との情報交換。
5月18日 11月29日 2月14日	小中連絡会	一中 東小 神川小 職員	小中	小中の職員が今年度入学した生徒と来年度一中に入学する生徒について情報交換を行った。
5月中旬	神川ランド遊び	国分保育園	保	国分保育園児が神川小外遊具スペース「神川ランド」で遊ぶ
9月	来入児保護者会	来入児保護者 (東小・神川小)	幼保小	対面にて実施
9月22日(金)	文化祭(松輝祭)	6年児童	小中	一中にて参加
10月	来入児健診	来入児・来入児保護者 (東小・神川小)	幼保小	来入児の健康診断
11月	来入児発達検査・保護者会	来入児・来入児保護者	幼保小	来入児の発達検査と、保護者への説明会を行った。
11月10日(金)	情報モラル講演会 (神川小PTA講演会)	神川小PTRA 一中区幼保小中の保護者	小	子どもとメディア信州 矢澤智都枝氏に講演いただいた。案内は一中区幼保小すべてに行った。
12月	家庭科 保育実習 (中学校)	国分保育園	保中	保育の領域の学習の一環として、見学を中に行った。
1月20日	中学校説明会	一中 神川小 東小 6年児童	小中	児童生徒、保護者それぞれの説明会を対面で行った。6年生とその保護者は中学校の様子を知ることができた。
10月・11月	特別支援学級見学	一中 東小と神川小の5年生、保護者	小中	中学校での生活に見通しをもつため、5年生とその保護者を対象として見学会を行った。

11月・12月	特別支援学級体験	一中 東小と神川小の6年生、 保護者	小 中	中学校入学を控えた6年生を対象として、体験学習を行った。
11月1日(水)	一中区人権同和教育研修会	一中区小中学校	小 中	東小学校にて参集にて開催した。各学年より授業公開し、人権同和教育について、全職員が考え合った。
1月	幼保小連絡会	1年・特支担任 各幼保	幼 保 小	入学に向けての連絡と、園児の様子等の情報交換を行った。
1月より随時	移行支援会議	特支、不登校・不応傾向の6 年児童	小 中	特支、不登校・不登校傾向の6年生児童が、保護者と共に、中学での学びの場の確認や相談を事前に行う。
3学期	来入児保護者会	来入児保護者 (東小・神川小)	幼 保 小	一中にて参加

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第二中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
5月12日(金) 7月13日(木) 11月14日(火) 2月13日(火)	授業参観・保育参観	塩尻小、清明小、梅花幼稚園、第二中	幼保 ・授業参観ができてよかった。発達年齢に応じて、教育、援助方法等は違うが、子どもの主体性を伸ばす学びの方向性は同じであるので、相互理解の情報交換ができた。
			小 幼保小中すべての参観ができたことで、子ども達の成長を系統的に見ることができ、お互いの理解が深まるとともに、小学校ではどんな力をつけていけばよいか考え直す良い機会になった。
			中 ・発達段階に応じた支援のあり方を共有できるよい機会となった。
6月3日(土)	各小学校運動会招待	各幼稚園・各保育園の年長園児 各小学校職員・児童	幼保 ・旗拾いやかざぐるま拾いに参加することで、さらに就学への期待も膨らんでいた。ぜひ継続をお願いしたい。
			小 ・自身が進学する学校との初めての出会いの場である。プログラムが縮小傾向にある現状だが、園の先生方の願いも大事にしながら、とりくんでいきたい。
6月19日(月)	6年中学校体験	塩尻小学校・清明小学校の 各6年生が二中へ	小 中学校の様子を感じる大事な機会である。中学の授業の楽しい一端を体験することで、進学への希望と不安の軽減につながると考える。
			中 ・中学校の様子を知っていただくよい機会となった。来年度は授業参観から体験授業へ切り替えるかを検討する。
9月22日(金)	二中祭見学	清明小学校、塩尻小学校の 各6年生が二中へ	小 ・初めて文化祭を見学し、中学生の作品や発表のレベルの高さに、学ぶところが多く、進学への期待も膨らんだ。
			中 ・中学生の学習成果の一部を小学生にも知っていただくよい機会となった。
5月～3月	なかよし集会 交流会	・聖ミカエル保育園・梅花幼稚園・上田幼稚園の年長園児と清明小4,5年児童 ・塩尻保・あそびの森あきわの年長園児と塩尻小1年児童	幼保 ・1年生と一緒に交流活動ができたことで、園児も来年度の入学を楽しみにしている。
			小 ・保育園、小学校双方からの要望で、複数回の交流ができた。一緒に虫取りをしたり、ゲームをしたりして交流することで、1年生の心の成長にもつながる。来年度は、さらに交流内容を工夫していきたい。
10月上旬	小学校音楽会 リハーサル見学	塩尻小 塩尻保育園・あそびの森あきわ (年長・職員)	保 ・小学校の行事を見ることで、より就学への期待につながった。
			小 ・来入児の子ども達は、小学校の活動を知るよい機会となる。また、1年生も年長児や幼保の先生方から温かい感想や成長をほめていただけたことで自信をもつことができた。

1月23日(火)	中学校説明会・体験授業	塩尻小学校・清明小学校の各6年生と保護者が二中へ	小	・卒業進学を目前に、進学への希望をもつ良い機会となった。保護者も不安の解消につながる。
			中	・中学校進学に向けて心の準備をしてもらうよい機会となった。来年度は6月の体験も含め内容について検討する。

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第三中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
6月19日(月)	中学校体験①	三中職員・生徒と北小6年 三中職員・生徒と西小6年	小 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級ごとに教科の希望をとり、中学校での授業(教科学習)を1時間ずつ体験した。</li> <li>・中学校1年生による中学校生活や部活動の紹介を聞いた。</li> <li>・小学生が中学校の先生に教えてもらい、中学の授業が実際にイメージをふくらませることができてよかった。</li> <li>・「中学の様子がわかった」等、不安が薄らいだ子や「あの部活動に入りたい」と期待を膨らませる姿があった。</li> </ul>
8月31日(木)	三中ブロック 不登校対策委員会	三中・北小・西小職員	小 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の長期欠席児童の現状を共有し、家庭の状況による家庭への配慮点や支援の方向について話し合えた。</li> <li>・不登校についての情報交換の他、小中連携のあり方について、考えることができた。</li> <li>・小6から中1へ入学後の、中1ギャップを埋めるべく、小中の連携をしっかりと行っていく必要性を感じた。</li> </ul>
10月31日(火)	三中ブロック 人権同和教育研修会	三中・北小・西小職員	小 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三中を会場に各校10名程度の出席で公開授業と授業研究会を行った。</li> <li>・公開授業①1年2組「グループづくりで人のかかわりを考えよう」(道徳) 指導者: 荻原敏行先生</li> <li>・公開授業②2年2組「障害のある型への思いやりと自分にできること」(総合) 指導者: 片桐芳之先生</li> <li>・生徒の学びの姿を見とり、生徒の姿を語り合うグループ討議を行うことができた。</li> <li>・同和教育の小中間の連携についても話題にし、各校の取り組みを共有した。</li> <li>・中学校へ繋ぐ北小・西小での取り組みについての打ち合わせができた。</li> </ul>
①8月～11月 ②7月20(木) 21日(金)	①中学生の保育体験実習 ②中学生の職場体験	三中2・3年 芙蓉保育園児を中心に 三中2年・北小職員・児童 西小職員・児童	中 幼保 小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の学校生活とは違う、保育士の立場になって、はたらくことのやりがいや将来について考える機会を得た。</li> <li>・コミュニケーションの取り方など難しさなどを感じとり、園の先生方の喜びや苦勞について体験できた。</li> <li>・中学生との交流を通して、お兄さんお姉さんとの活動を楽しんだ。</li> <li>・小学校の学級で2日間過ごし、教師の生活を間近で見て、感じる事ができた。</li> <li>・小学生の学習をサポートしたり、一緒に遊んだりして交流することができた。</li> </ul>
9月8日(金)	小学生の職場体験学習①	北小6年生	小 中	・校内見学 ・授業参観 ・保健室や図書館での業務 ・校内修繕のお手伝い
11月2日(木)	小学生の職場体験学習①	北小5年生	小 中	・校内見学 ・授業参観 ・保健室や図書館での業務 ・校内修繕のお手伝い
1月23日(火)	中学校体験②	三中職員・生徒と北小6年 三中職員・生徒と西小6年	中 小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の総合的な学習の時間の発表会を小学6年生が参観した。</li> <li>・中学生の学習発表を見て、中学生の姿や学びの様子を感じ取った。</li> <li>・中学生生活に向けての希望や期待を膨らませる機会となった。</li> <li>・主に中学1年生の発表となったが、前年の見学時の思いを重ねながら、小学生向けにわかりやすい説明ができた。</li> </ul>

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第四中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
6月8日	小学校6年生特別支援学級児童の中学校見学	南小6年特別支援学級児童 四中特別支援学級児童	小	中学校の校舎内や授業を見学したり、中学校の先生と関わることを通して、中学校での生活や授業をイメージし、中学への不安を少なくし、期待をもつことができた。
6月20・21日 7月10・11日	小学6年生の中学校体験授業	城下小学校・南小学校6年生 第四中学校1学年	小	中学1年生の授業を参観したり、中学校の先生の授業を受けたりすることを通して、中学校生活のイメージをもち、入学への期待感と心構えをもつことにつながった。
			中	中学1年生の授業見学と、中学教科担当による体験授業を行った。授業での学習の様子から、来年度入学生の概況を知ることができた。小学生が学習に向かう様子や小学生の発達状況等について知ることができた。
7月19～21日	保育園での職場体験学習	第四中学校2年生	中	キャリア学習の一環として、保育士の仕事の体験をした。園児に関わる保育士の姿から、今後の自分の生き方や社会への貢献について思いを深めることができた。
7月25日 7月26日 8月3日	来入児聴き取り参観	城下小職員 三好町保育園・城下保育園 上田南幼稚園	小	小学校来入児担当が各園を訪問し、年長児クラスの参観をした。年長児クラス担任との懇談と、来入児に関する聞き取りを行うことにより、具体的な情報が収集できた。園の側からも、来入児の発達状況などを見ていただき、具体的な話ができた。
2024/8/1 2024/8/2	来入児聞き取り参観	城下保育園・下之条保育園 南小学校	小	小学校来入児担当と支援担当が訪問し、年長児クラスの参観をした。年長児クラス担任との懇談と来入児に関する聞き取りを行うことにより、具体的な情報交換ができた。
10月10・13・16・ 20・23日	家庭科保育実習	第四中学校2学生	中	家庭科の保育単元の学習の一環として、三好町保育園で実習を行った。園児と遊ぶために自分で遊び方や関わり方を考え準備することで、乳幼児の特性や必要な配慮について考えることができた。
10月17日 12月22日 1月中旬	小学生と保育園児との交流	南小4年4組児童 みのり保育園児	保	小学生が保育園に来園し、お互いに歌を歌ったり、ゲーム、手紙を渡すなどした。園児は小学校に係るクイズを出してもらったり、ダンスを見たりして、憧れの気持ちを抱くことができ、1年生として入学する期待感が高まった。またクリスマスに係り、手作りのプレゼントをいただき、入学への不安が一掃され、早く学校へ行きたいという気持ちが高まった。また年長児においても、交流を通して、相手を思いやる気持ちが芽生えている。
11月24日	小学生と保育園児との交流	南小6年3組児童 南幼稚園児	小	幼児の様子を知り、関わり方を学ぶことができた。

12月22日	教員の異校種体験 (中学教員が小学校にて)	城下小学校6学年 第四中職員(初任者2年次)	中	初任研2年次研修にて、小学6年生の授業の見学や支援、また学級事務を行うことで、小学生の発達段階や中学入学に向けた指導・支援の工夫を知り、中学での指導・支援のあり方について学ぶことができた。
6月8・9日 12月20・22日	小学5・6年特別支援学級 児童の中学校見学	城下小学校・南小学校 特別支援学級5・6年生	中	中学の施設見学や学校説明を行った。特別支援学級の児童の様子を2年間に渡って見ることで、小中間での情報共有や中学受け入れにおける配慮点について、中学校の特別支援学級担任が確認することができた。小学生は、中学校の校舎内や授業を見学したり、中学校の先生と関わることを通して、中学校での生活や授業をイメージし、中学への不安を少なくし、期待をもつことができた。
12月20日	保育園児と児童会福祉 委員会との交流	みのり保育園年長児 南小福祉交流委員会	幼	お兄さんお姉さんと簡単なゲームをして一緒に遊び、交流を深めることを通して、小学校との差を少なくして、入学への期待感を持つことができた。また、分かり易い説明と言葉遣いや接し方の優しさを感じることができ、自分より小さい子大きい子に対する関わり方を学ぶ大切な時間となった。
			小	簡単なゲームをして交流した。園児のみなさんに楽しんでもらうことを目標に取り組んだ。当日も短時間であったが、明るく楽しい交流会になった。
1月12日	特別支援学級来入児見学	南小学区の幼稚園・保育園	幼保	特別支援学級の来入児に学校の実態や様子を見ていただき、理解を深めることができた。
1月19日	中学1年生による 中学校説明会	城下小学校・南小学校6年生 およびその保護者 第四中学校1年生	小	直接中学へ行っての説明会を行うことができた。生活の決まりや様子について先輩から直接教わることで詳しく知ることができ、中学校生活の基本について知り、入学への期待が高まった。
			中	中学1年生が来年度新入生の中学入学への不安を和らげるため、様々な活動に取り組んだ。後輩の入学にあたり、自分たちの生活の振り返りをすると共に、学年生徒が協働して自分たちの生活を改善しようとすることや、自分たちがより良い先輩になろうとする自覚を高めることにつながる良い機会となった。
1月26日	来入児保護者会 来入児1日入学	来年度入学予定児童 城下小学校1年生	小	来入児保護者会に合わせ、年長児と1年生とで交流会を行った。交通安全のDVDと一緒に視聴して学習し、じゃんけん列車で交流をした。教室で絵本の読み聞かせをし、プレゼントのパッチンカエルを渡した。数年ぶりに交流を行うことができた。1年生にとっても、会を進めたり、準備をしたり、有意義な活動になった。

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第五中学区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
春・秋・冬	お散歩しよう 一緒に遊ぼう	神科第一保・第二保 豊殿保 豊殿小・神科小	保 散歩のコースに小学校を入れ一緒に遊んだ。
			小 散歩に来た園児と一緒に遊んだ。
4月～5月	スタートカリキュラム	神科第一保 神科小 豊殿保 豊殿小	小 朝の活動に読み聞かせを入れたり、遊びを入れたりしながら各小学校の計画に沿って実施。
6月	保育園の先生による1年生の 授業参観と懇談会	豊殿小 神科小	小 参観を実施し、その後気になる子について情報交換を行った。
6月	第五中の花壇作り	神科第一保 第五中3年生	保 中学生と一緒に五中の花壇に花を植えた。はじめは緊張していたが、仲良くなった。
			中 神科第一保育園児と一緒に花壇に花を植えた。普段見られない表情で接する中学生であった。
6月	小学校音楽会	豊殿保・にしおか・上田北幼 神科第一保・第二保 豊殿小・神科小	保 音楽会当日は参加しなかったが、後日1年生の演奏を聞いた。
			小 音楽会当日は参加しなかったが、後日2年生の演奏を聞いた。
7月	中学校職場体験学習	神科第一・第二・あゆみ 豊殿保・にしおか・第五中	幼保 保育士をめざす五中生が各園で職場体験を実施。
			小中 保育士をめざす五中生が各園で職場体験を実施。保育の大変さ、楽しさを学んだ。
7月～8月 (夏休み中)	保育園プールでの保育体験	豊殿保 豊殿小	保 プールでの保育体験はできなかったが、夏休みに保育参観を行った。
			小 プールでの保育体験はできなかったが、夏休みに保育参観を行った。

9月	第五中前歩道の花壇	あゆみ保 第五中3年生	保	五中校舎改築のため実施せず。
			中	五中校舎改築のため実施せず。
9月	中学校文化祭見学	豊殿小・神科小(6年) 第五中	小	五中校舎改築のため実施せず。
			中	五中校舎改築のため実施せず。
6月	小学校運動会	豊殿保・神科第一保・第二保 あゆみ保・北幼・にしおか他 豊殿小・神科小	幼保	かざぐるま拾いに合参加し、小学校への入学に期待感をもった。
			小	かざぐるま拾いに参加した園児をあたたく迎えることができた。
10月	中学生保育実習(家庭科)	神科第一保・神科第二保 第五中(2年生)	保	五中生がクラスごとに保育園に出向いて読み聞かせを行った。
			中	園児が喜ぶ絵本をさがして読み聞かせを実施。園児とのかかわり方を体験した。
11月	小1との交流	上田北幼・神科第一保・第二保 ・神科小(1年)	幼保	1年生と一緒に工作をして遊んだ。楽しむこと合できた。
			小	お兄さんお姉さんとして園児を迎え、一緒に楽しむことができた。
1月	幼保小連絡会	豊殿保・神科第一保・第二保 あゆみ保・北幼・にしおか他 豊殿小・神科小	小	それぞれの園と情報交換することができた。
2月	年長児と5年生の交流	豊殿保・神科第一保 第二保・あゆみ保 北幼・にしおか他 豊殿小	幼保	来年お世話になる小学生と交流することができ、小学校への期待感が持てた
			小	来年最高学年として1年生を迎える気持ちの準備ができた。
2月	中学校での体験授業 新入生説明会	神科小・豊殿小 第五中	小	中学校の授業を体験し、中学校への期待感をもった。
			中	中学校の様子を小学生に説明することで、先輩になる自覚が芽生えた。

2月	中学校教員の小学校参観	豊殿小・神科小(6年) 第五中(1学年)	小	中学校の教員が6年生の授業参観し、特に配慮を要する児童の様子を参観した。
			中	中学校の教員が7年生の授業参観し、特に配慮を要する児童の様子を参観した。
3月	小学校へのアプローチカリキュラム	豊殿・神科第一保・第二保 あゆみ・上田北・にしおか 豊殿小・神科小	小	お昼寝をしない、たくさん歩く、座って活動する時間を長くするなど、小学校入学に向けての活動を取り入れ、小学校入学への期待感をもたせた。

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	塩田中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
6月3日	東塩田小運動会への招待 塩田西小運動会への招待 中塩田小運動会への招待	入学予定園児 小学校全校児童と担当係児童	小 幼保	保育園と相談のうえ、招待は行わなかった。
8月中	来入児のいる幼保への小学校職員 の参観と情報交換 (塩田西小)	塩田西小職員・西塩田保育園等	小	移行支援が必要な園児がいるなど特に必要な園について実施した。
	小学校職員の保育園での参観 実習 (中塩田小)	中塩田小職員・塩田中央保・塩田北保育園	小	今年度は実施しなかった。
	小学校職員の保育園での参観 実習 (東塩田小)	東塩田小職員・東塩田保育園	小	校長・教頭・来入児係が保育園に行き、特に年長児のクラスを見て、情報収集に努めた。
7月下旬～2月下旬	来入児のいる幼保への小学校職員 の参観と情報交換 (全小学校)	塩田地区内全保育園と上田女子短大 附属幼稚園	小	来入児の園での様子を具体的に参観し、特別な配慮が必要になる園児への支援や今後の支援の方向を共通理解することができた。事前相談の機会も早めにもつことができた。
			幼保	来入児の様子を具体的にみていただき、来入児への理解と支援のあり方の共通理解が図れた
9月22日	塩田中学校文化祭の見学	中塩田・塩田西小6年生	小	中学校の文化祭を見学し、来年度の学校生活をイメージすることができた。
10月5日	1年生遠足	上田女子短大附属幼稚園	小	年長児が紹介する遊びを体験することで、仲を深めることができた。
			幼保	自分たちが普段遊んでいる裏山を1年生に紹介するということで、交流を深めることができた。
10月12・13日	小学校職場体験	塩田中学校生徒	中	キャリア教育に生かすことができ、将来の目標が持てた。
10月19日	音楽会(リハーサル)への招待 (塩田西小)	西塩田保育園年長	小	6年進級時に入学する園児との関わりをもつことで、最高学年への希望をもつことができた。
			保	入学時の6年生の演奏を聞くことで、憧れをもち入学への希望がもてた

10月下旬～11月上旬	就学前健康診断・就学前検査 (全小学校)	小学校入学予定園児	小	市教委からの応援をいただき実施。入学予定園児の検査中の様子や待機している時の様子を通して、園児の実態把握が深まった。
			幼保	健康診断を通して体の調子が保護者に理解され、健康な体で入学を迎えようとする意識を高めることができた。園児にとっては、小学校職員と関わることで、入学を楽しみにする気持ちを高めることができた。
10月31日	1年生と来入児交流会	東塩田小1年生と来入児	小	来年度迎える側として、少しお兄さんお姉さんという自覚を持つことができた。
			幼保	小学校が楽しい所であると思うことができた。
11月2日	1年生と来入児交流会	中塩田小1年生と来入児	小	1年生児童は、交流会を通じて来入児を迎えたいという意識を高めることができた。
			幼保	交流を通して、小学校の様子を知り、入学への意欲が高まった。
11月20日	塩田支会小中学校人権同和教育公開授業	塩田地区小・中学校職員	小	東塩田小学校の授業を参観し、児童の様子や授業についての意見交換を行った。授業づくりの中で、人権同和教育のあり方を振り返ることができた。幼保園へも案内したところ参観していただいた。
12月8日	1年生と来入児との交流会	塩田西小1年生と来入児	小	インフルエンザ流行のため急遽中止となる。
春・秋季	近隣小学校への散歩	塩田地区内の保育園	保	広い校庭や大きな遊具で遊んだり、小学生の屋外での活動を見学したりすることで、小学校を身近に感じていた。
1月23日	中学校説明会	東塩田小・中塩田小・塩田西小の6年児童及び保護者学区外の入学予定児童	小	中学校の先生から教わる体験授業により、入学後の学習についてイメージすることができた。
			中	新入生とその保護者に学校生活について説明を行い、先輩になる自覚が出てきた。
2月～3月の複数回	小学校進学に向けて移行支援会議	各幼保園関係職員 小学校関係職員	幼保	入学後の支援の方向について確認することができた。
2月～3月の複数回	中学進学に向けて移行支援会議	各小学校関係職員 中学校関係職員	小	入学後の支援の方向について確認することができた。
年間を通して	盈進池周辺の散策 (中塩田小)	塩田北保・塩田中央保園児	保	遠足や散歩等で立ち寄り、自然を満喫することができた。
年間を通して	小学校見学	小学校入学予定来入児	幼保	小学校入学に不安を抱える保護者が、見学を希望し見通しがもてるようにした。
年間を通して	中学校見学	塩田中学校入学予定の5、6年生対象	小	入学後の学校生活が不安な生徒が、中間教室等を見学し、中学校の生活をイメージすることができた。

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第六中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
5月	幼保小連絡会	各幼稚園 保育園小学校(1年生)	幼保	・授業参観はできなかったが、入学後の現状を把握したうえで、情報の共有と入学前に取り組むべき内容の把握はできた。
6月～8月	希望者の学校見学	来年度入学予定児童	幼保	・学校見学をすることで入学への見通しを持てた。
6月～8月	職員の保育園参観	各小学校	幼保	・園児の生活を知り、入学児童への理解を深めることができた。。
6月3日 6月4日	運動会参加	川辺小学校 川西小学校	幼保小	・本年度「来入児 かざぐるま拾い」は計画しなかった。
7月19日	なかよし交流会	浦里保育園(年長児) 浦里小学校(1年生)	保小	夏祭りで作った迷路で遊ぶ等で楽しく遊び、久しぶりに交流することができた。
7月20・21日	職場体験	第六中学校・各小学校 各幼保育園	中	・各小学校、各幼保育園で中学生を受け入れていただき、体験活動を行うことができた。
			幼保小	・中学校からの依頼通り、2日間受け入れることができた。子どもの様子を知ったり、交流したりすることができ、学びにつながった。
9月22.23日	文化祭見学	第六中・各小学校	小中	・インフルエンザ、新型コロナウイルス対応のため中止。
9月30日	小学校運動会参加	浦里小学校 浦里保育園 幼・保育園	幼保小	・風車拾いに参加することができた。保護者も喜び、入学に期待が持てた。
11月	保育園実習	第六中学校(2年生全クラス) 泉田保育園	中	・園児とふれあい、遊びや対話を通して育児や幼児の特性について学ぶことができた。
			保	・中学生が生き生きと子どもと関わって楽しんで過ごし、園児の様子を肌で感じる事が出来た。
1月	幼保小連絡会	小学校 幼・保育園	幼保小	・年長児がスムーズに入学できるように運営してもらった。 ・入学予定児童について個別に情報提供していただくことができた。
1月19日	中学校説明会	第六中・各小学校	小中	・6年生、保護者ともに来校し、説明会を対面で行った。6年生は、中学1・2年生の授業も参観した。 ・初めて中学校を訪れた6年生も多く、中学校進学への希望をさらに強くもつことができた。 ・各校の6年生は中学の様子を知り、期待に胸を膨らませることができた。

1月29日 2月19日	交流会	川辺小6年生 川辺保育園年中・年長児	保小	川辺小6年生がクラス単位で川辺保育園に来園。6年生が手作りのゲームを持参してくれ、年中・年長児と交流をした。
2月	来入児1日入学	川西小学校 川西小入学予定児全員	幼保小	・5学年児童が企画して、楽しく交流することができた。
		浦里小学校 浦里小入学予定児全員	幼保小	・校内を案内したり、節分のおめんづくりをしたりした。
6月～3月	学校見学／移行支援会議	配慮の必要な園児や児童	幼保小	・見学をすることで、不安を軽減できた。 ・配慮を要する児童の支援会議を行い、入学後の支援の方向を検討した。
通年	小中連携事業 (算数)	第六中学校・各小学校	小中	中学校の数学科の先生に小学校へ来ていただき、6年生と5年生の算数の授業を指導していただいた。中学校の授業のイメージをつかむことができ、中1ギャップの解消に役立てることができた。中学校でも地域の小学校の児童理解が進んだ。

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
通年	中学校の先生による数学の授業	丸子中学校 丸子中央小学校 西内小学校	中 今年度は、職員数や指導時間数の調整が難しい状況であったため、実施することができなかった。来年度は、小中連携事業を行う予定である。
			小 今年度は、上記理由のため実施することができなかった。来年度は、小中連携事業を行う予定である。
4月～2月	青少年ネットワーク会議	丸子中央小・西内小・丸子中・丸子修学館高	小中 小中高の児童会生徒会の役員が参集し、3回実施。1、2回目は「丸子を知ろう」と題して講師を招き、ワークショップを行った。3回目は主に代替わりした新役員の顔合わせ等を行った。
	西内小音楽祭	西内小・丸子中	小中 西内小音楽祭で、丸子中在籍の西内小卒業生と小学生の金管コラボ演奏を行った。
	丸子中学校職場体験学習	西内小・丸子中	小 キャリア教育の一環として、中学生との関わりの中で対人スキルを高め、仕事に真摯に取り組む姿勢を学ぶ。
中 丸子中2学年で職場体験学習行い、西内小で掃除や薪運び、学習指導補助を行った。			
7月 11月 2月 (年3回)	幼保小中合同 メディアコントロール週間	丸子中、丸子中央小、西内小、中丸子保、まるこ保、西内保	幼保 メディアコントロールの大切さについて、保護者への啓発を行い、各家庭でルール作りに取り組んでもらう。中学校のテスト週間に合わせて、幼保小中全部で行うことで、取り組みやすくした。
			小中 週間を知らせる通知を配布し、家庭における通信端末の適切な使い方について、保護者への啓発を行った。「つむぐ」を活用して、メディアに接する時間を短くしたり、メディアとの関わりを意識した生活を心がけた。
7～8月	プール開放	中丸子・まるこ・西内の各幼保園児と小学生	幼保 中止
			小 保育園児が丸子中央小学校のプールに入水する機会をもった。プールでの直接交流は行わなかったが、小学校のプールに入水できたことを喜ぶ姿が見られた。西内小では園児を迎え同じプール内で各活動を楽しんだ。
8月	職員研修(小→幼保)	丸子中央小・学区内各園 西内小・西内保育園	小 保育園の現場を体験して子どもへの理解を深めるとともに、職員間の関係づくりのよい機会となった。

8月	遊びの交流(年長児と1年生) (川遊び) (イワナ放流)	西内小・西内保育園年長児	保	小学校をより身近に感じ、ともに川遊びや自然を楽しむことができる。
			小	園児と2年生がともに川遊びをすることで、顔見知りになり、異年齢の友だちとのスムーズな関わりが期待できる。
9月	中学生の幼稚園訪問	学区内保育園・丸子中学校	中	家庭科の保育の授業の一環として、中学2年生がクラスごと訪問し、園児と交流することを通して保育について学んだ。
9月	小学生の文化祭見学	丸子中央小・西内小6年生・丸子中学校	小	中学校の文化祭を見学することを通して、中学校生活の様子を知るとともに、入学への期待を持つ。今年度は見学中止。
中央小 10月 西内小5月	運動会での交流	丸子中央小・各園の来入児 西内小・西内保育園の来入児	幼保	(中央小)運動会での交流は中止。来入児検査の時に、5年生が作った風車をメッセージをそえてプレゼントした。(西内小)運動会来入児種目に参加。小学生や保護者に紹介できた。
10月・1月	来入児と5年生との交流	丸子中央小入学予定来入児・丸子中央小5年	幼保	5年生と一緒に遊んだり学校を知ることを通して、入学への期待を膨らめる。今年度は中止。
			小	学校探検や工作、絵本を読むなど園児との交流を通して、思いやりの気持ちを持ち、6年生になる自覚を持つことにつなげる。今年度は中止。
11月	中学校体験授業 (6年生が中学校で)	西内小・丸子中央小・丸子中	小	中学校で授業を受けたり、中学校生活の様子を聞いたりすることを通して、入学への期待や準備に向けた意識を持つ。教科の専門性を知る。
			中	児童の様子をもとに、今後の入学に向けた準備に生かす。6学年児童が中学校を訪問し、全体説明で中学校での生活の様子を聞いたり、実際に社会、英語、理科の授業を講座毎に分かれて体験したりした。
11月	音楽会への招待	西内小・西内保育園	保	小学校をより身近に感じ、ともに音楽を楽しむ。
12月	クリスマス会	西内小・西内保育園年長	保	ALTとともに小学生を保育園に招待し、進学への期待を高めた。
12・2月	来入児陶芸	西内小・西内保育園年長	保	小学校をより身近に感じ、陶芸粘土遊びを楽しみ、進学への期待を高めた。
1月	湯澤かよこさんによる 読み聞かせ	西内小(2年生) 西内保育園年長	保	小学生とともに本の読み聞かせを楽しむことで、交流を深め小学校を身近に感じた。
			小	交流を通して、上級生としての自覚や思いやりの気持ちを持つことができた。
2月	中学校見学	丸子中・丸子中央小・西内小	小	中学校生活を見学することで、中学校の様子を知り、入学に対する意識を高める。
2月	中学校の特別支援学級授業 参観	丸子中央小学校 特別支援学級 在籍児童(5年生)	小	中学校での特別支援学級での学習の様子を知り、1年後の卒業進学にむけて、イメージを持たせる。本年度は中止

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子北中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
年間	地域あいさつ運動	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中 ・各学校ごとに期日を設定し、学校独自で行ったり、地域の方と一緒にしたりした。あいさつの大切さを理解し、進んであいさつのできる小中学生が増えてきている。
5月11日	小中連絡会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中 ・生徒の出身校の先生方に新入生の授業の様子を見ていただき、情報交換を行った。個々の児童の支援方法について、多くのアドバイスをいただくことができた。
5月12日	塩川小・幼保小連絡会	塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保小 ・児童の出身園の先生方に新入児童の授業の様子を見ていただき、情報交換を行った。個々の児童の支援方法について、多くのアドバイスをいただくことができた。
5月23日	丸子北小・幼保小連絡会	丸子北小・依田保・長瀬保	幼保小 ・児童の出身園の先生方に新入児童の授業の様子を見ていただき、情報交換を行った。個々の生徒の支援方法について、多くのアドバイスをいただくことができた。
6月7日	丸子地域新任職員等人権教育研修会	丸子北中・丸子中・西内小・塩川小・丸子中央小・丸子北小	小中 丸子地域に新しく赴任した職員を対象とした人権童話教育研修会を行った。丸子地域の学校職員として責務や役割を理解し、子どもたちのために努めていく意欲を高めることができた。
6月13日・26日 7月3日 8月28日 10月23日	学校探検	塩川小(1年生・特別支援学級)・塩川保・ちぐさ幼	幼保小 ・園児が安心して小学校に入学できるように、1年生の授業の様子や特別支援学級の授業の様子を見学したり、学校内を探検したりした。1年生の学習や特別支援学級の学習に関心を持ったり、校内探検を楽しんだり、休み時間には、小学校の児童と触れ合ったりして、小学校の様子を感じることができた。
6月	ふれあい保育実習	丸子北中(2年生)・依田保・長瀬保	保中 ・園児と一緒に遊ぶことを通して、園児とのかかわり方や支援の仕方など学ぶことができた。
7月	小学校プール開放	塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保小 ・小学校の施設に慣れてもらうことを目的として、小学校のプールを開放した。園児が水に慣れる機会としても有効であった。
7月4日	特別支援学級交流会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中 ・3校の児童生徒が、色々な活動を通して交流を深めることができた。卒業生との再会を喜んでいる児童も多かった。児童生徒にとって貴重な学びの場になるので今後も継続していきたい。
7月25日	丸子支会学校職員研修会	丸子北中・丸子中・西内小・塩川小・丸子中央小・丸子北小	小中 ・丸子地域の小中学校職員(人権同和教育)研修会を行うとともに、各種委員会の事業計画を検討し合った。職員同士の親睦を図る機会ともなった。
7月26日 8月1日	保育園年長児参観	丸子北小・依田保・長瀬保	幼小 ・小学校の先生方に年長児の様子を見ていただき、情報交換を行った。来入児に関する情報を多くいただくことができ、有意義な会となった。
7月19日 7月20日	職場体験学習	丸子北中(2年生)・依田保・長瀬保・ちぐさ幼	幼保中 ・2日間の日程で、職場体験学習を実施した。園児へのかかわり方を学び、園の先生方の仕事内容を学ぶことができた。将来の職業を考える貴重な学習となった。
9月4日	中学校見学	丸子北中(特別支援学級)・塩川小(特別支援学級児童)	小中 ・児童が安心して小学校に入学できるように、中学校の特別支援学級の授業の様子や学校内を見学したりした。親子ともに入学後の見通しをもつことができた。

9月21日	来入児保護者会	丸子北小・依田保・長瀬保・その他の幼保	幼保小	・来入児の保護者が小学校の生活の様子、年間計画、入学に向けての準備等についての説明を受け、保護者会を結成した。保護者同士が交流する機会ともなった。
9月22日	中学校文化祭見学	丸子北中・丸子北小(6年生)	小中	・小学校6年生が中学校の文化祭を見学した。中学校生活への希望や期待感を高めることのできる機会となった。見学してもらう内容を見直しながら、今後も継続していきたい。
10月	小学校音楽会練習参観	丸子北小・塩川小・依田保・長瀬保・塩川保・ちぐさ幼	幼保小	・丸子北小と塩川小のそれぞれで、園児を招待し、音楽会のステージ練習の様子を見学してもらった。園児は小学校の行事に関心をもち、入学への期待感を高めることができた。小学生にとっても見てもらうことで、本番への緊張感を高めることができた。
11月1日	来入児保護者会	丸子北小・依田保・長瀬保・その他の幼保	幼保小	・保護者へは小学校生活に関する説明を行い、児童は諸検査を行った。検査の様子から、個々の児童の特性をつかむことができ、入学後の支援計画の資料とすることができた。
11月2日 2月9日	小中連絡会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・中学校へ入学予定の児童についての情報交換会を行った。特別な配慮が必要な児童についての支援方法等を細かく確認しあうことができた。
11月14日 12月13日	1年授業参観・交流活動	丸子北小(1年生)・依田保・長瀬保	保小	・年長児が1年生の授業を参観したり、1年生と一緒に遊んだりすることで、小学校生活の様子を理解し、生活の楽しさを味わうことができた。小学生にとってもお兄さんお姉さんになる自覚を強くもつことができた。
11月22日	丸子北中学校区人権同和研修会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・塩川小を会場とし、授業参観と研究会を通して、人権同和教育に関する授業内容や指導法について多くのことを学ぶことができた。(6年生の公開授業は感染症のために延期して行った)
11月24日	来入児保護者会	塩川小・塩川保・ちぐさ幼・その他の幼保	幼保小	・来入児の保護者が小学校の生活の様子、年間計画、入学に向けての準備等についての説明を受け、来入児は5年生の児童と遊びを通して交流をした。保護者は入学前、入学後に必要なことについて理解を深めることができた。
12月21日	中学校部活動見学	丸子北中・塩川小	小中	・塩川小の特別支援学級児童が、中学校の部活動(バレーボール部)の見学をした。児童は部活動について、興味関心をもつことができた。
1月11日	なかよし学級体験入学	丸子北中・丸子北小学校(特別支援学級)	小中	・中学校の特別支援学級の授業を実際に体験することで、中学校の授業の様子を理解し、入学への見通しをもつことができた。
1月19日	丸子北小・幼保小連絡会	丸子北小・依田保・長瀬保	幼保小	・小学校へ入学予定の園児についての情報交換会を行った。特別な配慮が必要な園児についての支援方法等を細かく確認しあうことができた。
1月19日	塩川小・幼保小連絡会	塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保小	・小学校へ入学予定の園児についての情報交換会を行った。特別な配慮が必要な園児についての支援方法等を細かく確認しあうことができた。
1月19日	丸子北中体験入学・保護者説明会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・入学予定の児童に中学校の授業を実際に体験してもらったり、中学校の生活についての紹介を聞いたり見たりしてもらった。児童にとっては、中学校生活への不安や心配ごとを解消し、入学への期待感を高める機会となった。保護者へも中学校生活の説明を行い、中学校生活への見通しをもっていたいただいた。
1月26日	小学校6年生授業参観	丸子北中・丸子北小	小中	・中学校の職員が6年生の授業を参観することで、入学後の支援計画について役立てることができた。
1月26日	来入児保護者会	丸子北小・依田保・長瀬保・その他の幼保	幼保小	・保護者へは入学に関する説明会を行った。保護者は小学校の生活に見通しと安心感をもつことができた。
1月29日	小学校6年生授業参観	丸子北中・塩川小	小中	・中学校の職員が6年生の授業を参観することで、入学後の支援計画について役立てることができた。
2月	赤ペン先輩	丸子北中・塩川小	小中	・6年生が解いた算数の問題を中学1年生が採点し、コメントをつけて返却した。小学生は先輩への憧れを抱き、中学生は先輩になるという自覚をもつことに有効な取組となった。

2月15日	来入児保護者会・来入児一日入学	塩川小・塩川保・ちぐさ幼・その他の幼保	幼保小	・保護者へは入学に関する説明会を行い、来入児は小学校5年生と交流活動を行った。来入児は、楽しく遊んでいる様子から小学校生活をとても楽しみにしていることが感じられた。
3月6日	なかよし学級中学校見学	丸子北中・丸子北小(5年生)	小中	・特別支援学級の5年生児童が、親子で中学校の授業を参観したり、中学校生活の説明を受けたりした。早めに見通しを持つことにより、保護者は中学校生活や6年生での生活への見通しを持つことができた。

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	菅平中・真田中区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
5月9日	真田中学校小中連絡会①	真田中:長小、傍陽小、本原小	小中	授業参観・旧担任と生徒の懇談、全体会及び個別懇談会を実施
5月15日 10月16日	真田支会学年会・部会	長小、傍陽小、本原小 真田中、菅平小・中	小中	○同学年会、各専門部会の開催 ・各学年会、部会、委員会に分かれ、真田地区児童生徒の健全育成を目指して、情報交換や指導改善に向けた話し合いを行い、各校の状況を知り、実践から学ぶ機会となった。
5月27日 6月3日 6月2日	小学校運動会への 来入児の参加 (かざぐるま拾い)	傍陽小:そえひ保、いずみ幼 本原小:さなだ保、いずみ幼 他 菅平小:すがだいら保	幼保	<傍陽小:運動会に来入児を招待し、かざぐるま拾いを実施した> <本原小:運動会に来入児を招待し、かざぐるま拾いを実施した> <菅平小:来入児が運動会の様子を見学したり種目に参加したりすることで小学校への期待をもってもらうことができた。>
6月20日・26日 6月28日 5月18日 6月28日	幼保小連絡会①	長小:さなだ保、いずみ幼 本原小:さなだ保、いずみ幼他 傍陽小:そえひ保、いずみ幼 菅平小:すがだいら保	幼保	○今年度の活動と来年度の方向、児童の情報交換 ・1年生の児童の学校の様子を知っていただき、幼保時代の情報を伝えることができた。
6月20日・21日 ・23日	真田中との交流	真田中(2年) さなだ保	保	○家庭科の保育実習の授業として、真田中2学年と3歳以上児で交流を行う。各年齢ごとの活動に参加。短時間であったが、幼児期の子ども達との関わりが持てた。
7月18・19日	真田中との交流	真田中 さなだ保、そえひ保	保	○真田中3学年数名が職場体験学習として、3歳以上児と交流を行う。各年齢ごとの活動に参加。幼児期の子どもたちとの関わりがもてると共に、保育士の仕事について体験できた。
7月21日	交流活動(菅平小)	菅平小(1年) すがだいら保	保	○菅平小1年児童とすがだいら保育園年長児とが、折り紙や鬼ごっこなどを通して交流を深めた。次回の交流に向けて顔合わせができた。
7月28日 7月29日	参観・情報交換	さなだ保	幼保	<長小、本原小:園児行動観察と情報交換>
8月22日	小学校職員 保育体験研修	傍陽小、そえひ保	保	<傍陽小:半日という短い時間ではあったが、保育体験をさせていただき、その中で、子どもたちの様子を知ることができた。>
9月14日	交流活動(菅平中)	菅平中(3年) すがだいら保	中	○中学生が園児に絵本の読み聞かせをしたり、運動会練習を一緒にしたりした。相手意識を高める学びができた。
9月19日～ 11月10日	交流学习をまとめた 掲示物を展示	真田中、さなだ保	保	○保育園との交流をまとめた写真付きの展示物を掲示した。保育園でも掲示し、交流情報を共有した。
10月5日～6日	音楽会・文化祭(菅平小・中)	菅平小・中	小中	○音楽会は小中合同で開催、文化祭は一部小学校が参加して開催し、小中で協力して児童生徒が主体となって創りあげた全校行事となった。

10月24日	来入児保護者会 入学前検査	傍陽小 そえひ保、いずみ幼 来入児 来入児保護者	幼 保	○来入児保護者会、来入児の入学前検査 ・保護者には、小学校の様子や事務手続き等を伝え、理解していただくことができた。来入児の検査時の様子や結果から、来入児への理解を深めることができた。
10月30日	真田中との交流	真田中(1・2年) さなだ保	保	○真田中の校内中間教室で過ごしている生徒数名と3歳以上児で交流を行う。各年齢ごとの活動に参加。短時間であったが、幼児期の子も達との関わりが持てた。
11月2日	交流活動(本原小) (来入児保護者会時)	本原小(1、5年) いずみ幼 さなだ保	幼 保	○諸検査時の5年生との交流 ・検査待ち時間に、5年生が折り紙や読み聞かせしたり、検査会場への案内をしたりして、来入児が安心して検査を受けられるようにした。
11月21日	来入児保護者会① 入学前検査	菅平小 すがだいら保育園来入児 来入児保護者	保	○来入児保護者会、来入児の入学前検査 ・保護者には、小学校の様子や事務手続き等を伝え、理解していただくことができた。来入児の検査時の様子や結果から、来入児への理解を深めることができた。
11月22日	交流活動(長小) (来入児保護者会時)	長小(5年) さなだ保、いずみ幼 他	幼 保	○来入児保護者会、来入児の入学前検査 検査の待ち時間に5年生と交流、かざぐるま拾いを体育館で実施した
12月4日	交流活動	長小(1年) さなだ保	保	○1年生があきまつりの招待状を届けに行き、年長児と交流
12月4日	真田中学校新入生体験入学	長小、傍陽小、本原小 真田中	小 中	○各小学校から中学校へ出かけ、授業体験を実施
12月4日	真田中学校小中連絡会②	長小、傍陽小、本原小 真田中	小 中	○現6年生担任、特別支援学級担任等による情報交換 ○新1年生学級編制点の説明 ・個別の配慮を要する児童や、入学後に注視が必要な児童について、情報を共有できた。 ・次年度1年生学級編制の手順や留意点について、小中学校の職員の共通認識が図られた。
12月6日	交流活動	長小(1年) さなだ保	保	○1年生のあきまつりに年長児を招待して交流
1月9日	県中スキー壮行会	菅平小・中	小 中	○スキー大会壮行応援 ・県中スキー大会に参加をする中学生の選手を、スキー活動を行っている小学校4年生から6年生の児童と大会に参加をしない中学生で応援し、地元のスキー関係者の方々からも激励の言葉をいただいた。
1月18日	来入児保護者会② 体験入学	菅平小 すがだいら保育園来入児 来入児保護者	保	○来入児保護者会、来入児の体験(校舎案内と1年生との交流)、給食着・運動着の採寸
1月19日	全中スキー壮行会	菅平小・中	小 中	○スキー大会壮行応援 ・全中スキー大会に参加をする中学生の選手を、スキー活動を行っている小学校4年生から6年生の児童と大会に参加をしない中学生で応援し、地元のスキー関係者の方々からも激励の言葉をいただいた。今年度はアルペン競技で2名、ジャンプ(コンバインド含む)競技で2名の出場を決めた。
1月19日	来入児交流 保護者会 (本原小)	本原小(1年) さなだ保 そえひ保	保	<新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置期間中のため 来入児交流のみ中止> 保護者会は実施。入学に向けての説明、物品の購入をおこなった。
1月30日	来入児保護者会	傍陽小 来入児保護者	幼 保	○来入児保護者会
2月5日	真田中学校小中連絡会③	長小、傍陽小、本原小 真田中	小 中	○次年度新1年生学級編制の結果確認と個別の情報交換 ・中学校で行った学級編制の結果を小学校に確認してもらうことで、中学校では捉えにくい児童の実態を新入生の学級編制に反映させることができた。

2月7日 2月8日	来入児交流(本原小)	本原小(1年) さなだ保、そえひ保 いずみ幼 他	幼 保	○1年生と園の年長さんと『なかよし交流会』を実施。 年長さんを小学校に招待して勉強のことを教えたり、学校を案内したり、アサガオの種をプレゼントしたりした。
2月16日	中学校説明会	長小、傍陽小、本原小 真田中	小 中	○次年度新入学する6年生及び保護者による中学校の授業参観と中学校説明会 ・中学校での授業の様子、学校運営や授業、生活についての説明や質疑を通して、今何が行われ、どの方向に進もうとしているのかを保護者に理解していただくと共に、4月からのスタートを円滑に行えるように中学生に直接質問することで、共通理解ができた。
2月16日	中学校説明会	菅平小・中	小 中	○次年度新入学する6年生及び保護者への中学校説明会 ・中学校での授業の様子、学校運営や授業、生活についての説明や質疑を通して、今何が行われ、どの方向に進もうとしているのかを保護者に理解していただき、4月からのスタートを円滑に行えるように配慮した。

## 令和5年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	依田窪南部中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
7月31日	保育園研修	依田窪南部中学校 武石小学校 武石保育園	小中	・小中学校職員(今年度新任9名)が、年少から年長までの園児と関り、一緒に遊び、園職員のサポートをおこなった。 ・園児の発達段階を理解する上で、大変貴重な体験となった。また、園の職員の働き方を学ぶ良い機会となった。
			保	・小中学校職員が来園し、園児たちの様子をみたり、一緒に仕事をしていただいたりしたことは、園としても大変ありがたい機会となっている。
8月10日	来入児参観	武石小職員 武石保育園	小	・小学校来入児担当職員1名と特別支援コーディネーターが、武石保育園を訪問し、年長クラスの活動の様子を参観した。参観後、年長児についての情報共有する会議をおこなった。 ・支援を必要とする園児について早めに把握することができ、小学校入学までの準備がしやすくなっている。2月には、移行支援会議がおこなわれ、入学に向けての支援体制を整える上でもありがたい。
			保	・小学校の職員に、園児の様子を早めに見てもらうことで、小学校入学に向けて情報共有や児童理解が深まっている。 ・安心して小学校入学への準備をおこなうことができる。
7月13日 11月1日 1月25日	プール体験 来入児発達検査時交流 1日入学	武石小全校 武石保育園来入児	小	・来入児の様子を小学校職員全員で見ることができ、個の特性を理解する上でなくてはならない機会となっている。 ・来入児と関わることで、小学校5年生は、来年度の姉妹学年、最上級生として、1年生は、先輩になる自覚を持つことができ、来年度の期待が膨らんだ。
			保	・来年度入学する小学校は、どんなところなのか。小学生の活動の様子を見せていただいたり、一緒に遊んでもらったりすることで、小学校入学への不安を取り除き、入学を楽しみにする園児の姿があった。 ・小学校のプールを借りて水遊びを楽しむことができた。小学校の大きなプールを使い、来年度の期待と、自身をつけることができた。
7月18日～20日	職場体験学習	依田窪南部中学校 武石小学校 武石保育園	中	・中学2年生が、保育園や小学校での職場体験を通して、働いている人のことを考える機会となった。 ・児童や園児と接することで、先輩としての自覚が芽生えた。
11月14日	焼き芋交流会 ※インフルエンザのまん延のため中止(プレゼン渡しのみ実施)	武石小学校 武石保育園	小	・インフルエンザがまん延したため、交流会は中止となったが、焼いたお芋やメッセージカードを届けた。「学校は楽しいよ。」「待っているよ。」とのメッセージや焼き芋を届ける姿から、入学を心待ちにしていた。
			保	・交流会はなくなったが、小学1、2年生から焼き芋の差し入れやメッセージカードをもらい、園児たちはとても喜んでいて、「小学校へ行きたかった。」との声も聞かれ、小学校生活を楽しみにしている様子が見受けられた。
8月30日 9月22日	小中音楽交流会 紫苑祭合同演奏	武石小学校 依田窪南部中学校	小	・中学生の素晴らしい歌声を聴き、中学生の素晴らしさを感じる機会となった。 ・一緒にステージに立たせていただき、歌うことで中学校の文化祭について知り、行事への期待が膨らんだ。

12月13日・14日	中学校出前授業	武石小学校 依田窪南部中学校	小 中	・中学校の先生から直接授業をしていただくことで、不安に思っていた授業が楽しみになった様子が見受けられた。
1月23日	中学校説明会	武石小学校 依田窪南部中学校	小 中	・中学生に中学校生活と小学校生活の違いを説明してもらい、不安に思っていた部分が少し取り除かれ、中学校入学が楽しみになったとの声も聞かれた。 ・中学1年生が、小学生に説明をすることで、先輩としての自覚が芽生えた。